

自己評価及び外部評価結果

1. 事業所概要

事業所番号	3190200265	実施年度	令和 6 年度	
法人名	社会福祉法人真誠会			
事業所名	グループホーム椿庵・桜庵			
所在地	(683 - 0103) 米子市和田町 1722 番地			
サービス種別	■認知症対応型共同生活介護 ■介護予防認知症対応型共同生活介護		定員	計 18 名
			ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	令和 7 年 2 月 21 日	評 価 結 果 市町村受理日	令和 7 年 4 月 18 日	

2. 運営推進会議開催日時・場所

日 時	令和6年4.19 6.21 9.5 10.18 12.13 令和7年2月21日 16時～17時	場 所	弓浜支え愛センター
-----	---	-----	-----------

3. 運営推進会議メンバー

区分	委員分野・主な役職等	人 数
委員	利用者又は利用者の家族	2 人
	地域住民の代表者	6 人
	当該サービスに知見を有する者	2 人
	市の職員又は地域包括支援センターの職員	2 人
事務局	管理者	1 人
	計画作成担当者	1 人
	介護従業者	人

4. 事業所の特徴

平成25年10月に開所。静かな住宅地の中にあり、家族様や地域の方が訪れやすい場所にあります。地域に密着し家族様と共に認知症の人を支える施設をめざし行事、綿作り、餅つきなど地域の方と共同で行っています。家族様との関係が途切れないように、庵での生活について電話や毎月の便りでお知らせしており、家族交流会も定期的を開催しています。健康管理については、27年11月に隣接施設に看護小規模多機能型居宅介護ふる里が開所し、密に連携をとって、入居者様の異常の早期発見、重度化予防に努めています。感染対策においては法人の感染対策委員会の元、適切な対応を行っており、令和5年度より行事を再開し、多数の地域ボランティアの方に参加してもらっています。

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	毎朝事業所理念を唱和し、実践できるように確認しています。日常業務の中で、地域住民として普通の生活を行う事が実現できるよう各職員が意識しています。利用者毎の行動計画を毎日チェック表で確認し、職員間で共有しています。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	隣接している看護小規模多機能ふる里とともに、和田地域ケア会議、公民館活動やいきいきサロンなどの地域の行事に参加したり、もちつき大会、綿作りを開催し地域の方と交流しています	多様な地域交流を積極的に取り組んでおり、地域の拠点としての役割を担っている。今後も感染症予防に注意を払いつつ実施してもらいたい		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	2か月に1回開催し、サービス内容や活動の報告、意見交換を行っています。家族に連絡し出欠確認を行い、また地域の社会福祉協議会、自治連合会、交番、包括支援センター、市職員等の参加があり、その意見をサービスの向上に活かしています	会議では、外部評価などの取り組み内容を報告するとともに、参加メンバーから質問、意見、要望を受け、サービスの向上に活かしている		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	市の担当者へ運営推進会議において、取り組みや課題について報告しています。市のイベント(全国キス釣り大会表彰式に参加など)に毎年参加するなどしています。弓浜包括支援センターとは常に地域行事や運営会議等で連絡や相談をしています	和田地域ケア会議や市のイベントなど日頃から連携、協力できる関係を築いている		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	職員は法人研修で身体拘束の弊害、具体的な行為について理解しています。3か月に1回身体拘束適正化小委員会を開催し、各事業所の事例検討を行い、身体拘束をしないケアに努めています。転倒防止のため、コールマットを使用する際はケアプランに反映させています。職員の有休の計画的な取得や面談によりストレスを溜めない様対応しています		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	職員は高齢者虐待防止法について学習し、虐待が見過ごされることがないように注意を払っています。身体拘束が虐待に繋がることも理解して、職員の言動にも注意をしています		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	職員は制度について学習し、全員が権利擁護について理解し、活用について関係機関に相談ができるように努めています			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	契約の締結、解約、改定等の際は分かりやすい言葉で具体的にゆっくりと説明を行なっています。ご利用者やご家族の不安や疑問が出やすいような雰囲気を作り、納得いただけるように心がけています			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	面会や定期的な家族交流会、運営会議等で意見や要望を聞くとともに、ホームの玄関に意見箱を設置し、意見、要望を表しやすいよう努めています。満足度調査の実施、及び月1回の家族へのお便りについて、個々の担当により情報量の差が出ないように、フォーマットの共通作成を行っています		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	管理者は日々のミーティング、職員との個別面談、連絡ノートやほのぼのの記録の活用など、職員の意見や提案を積極的に聞き、運営に反映しています。月に一度の職場会は事前に議題を募集して会議を進めています。未参加者も議事録、事務連絡(パソコン)で情報共有しています			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	管理者は職員の状況を把握し、その実績を定期的、随時に評価し、代表者に報告しています。管理者は職員のいいところ、頑張っているところを見つけてやりがいに繋がるようしています		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	法人全体の研修のほかに事業所内での教育を年間計画をたてて実施しています。施設外の研修や勉強会に参加できるよう情報提供、支援しています。法人独自の勉強会があり、資格取得への支援をしています。感染対策で研修については動画やTV電話を活用しています		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	グループホーム協会が行っている研修会に参加した職員が、学んだことを伝達し参考になることを積極的に取り入れるようにしています。同法人のグループホーム青松庵とは職員の人事交流を実施し、情報のやり取りを行っています。認知症のケアに生かせるよう、法人の教則本を使って勉強会を行っています			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	職員はご本人とご家族の関係を第一に考え、行事をはじめとした一緒に楽しく過ごせる機会を作っていただけるように話しをしています。訪問時や電話、毎月の便りなどでも随時状況を伝えています			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ご本人やご家族から情報を聞き、面会時になじみの場所に外出されるように勧めています。自宅に帰ってなじみの店や近所の友人に会われる方もあります。盆や正月の帰省ができるよう工夫しており、またホーム近隣への散歩や喫茶店へお邪魔したり、いきいきサロンや公民館活動への参加を行い、新たな馴染みの関係づくりにも努めています	感染症予防対策のため、面会制限や外出が難しいと思うが支援に努めてほしい。家族に写真など思い出のある物を持参してもらっている		

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人やご家族から聞き取った生活歴や希望など情報を把握するとともに、アセスメントに記載し、日々の言動や表情などを見逃さず、電子カルテを活用し職員間で共有を行っています。生活歴や性格を考え、本人にとってよいケアになるように検討しています			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に計画の評価見直しを行っています。3 か月に 1 度 PT と共に下肢筋力維持の生活機能向上計画を行っています。家族にも希望、疑問を聞き、適宜、主治医、看護師、歯科衛生士理学療法士など専門職に相談し計画に反映させています	本人、家族が納得いくリハビリを提供することで、満足度を高めて欲しい	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の実践の結果や気づきを個別に記録し、毎朝のミーティングで共有し、モニタリングで評価を行って計画を見直しています。チェック表で身体状況・水分・注意点を確認し、実践に役立てています		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	体調不良など必要時にはご家族も一緒にかかりつけ医に受診の送迎を行う。家族の冠婚葬祭時に現地へお連れするなど、入居者様やご家族の希望になるべく柔軟に対応できるようにしています	今後もそういった取り組みを継続してほしい		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	☒ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族や友人の方には、なるべく本人と一緒に出かけ楽しい時間を過ごしていただくことを勧めています。なじみの美容院や喫茶店へご家族と行かれたり、友人と外食へ出かけたりされる方もあります	今後もそういった取り組みを継続してほしい		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	かかりつけ医はご本人、ご家族の意向を尊重しています。主治医とは受診表を作成し報告を行い、連携を図っています。また、週1回の訪問看護により医療面のサポートを受け訪問歯科診療、リハビリ訪問(PT)により体調管理を行っています			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院されたときは連絡票を作成し情報提供しています。また、入院中は電話連絡や面会に行き、情報交換をしながら安心して治療が受けられるようにしています		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化、終末期までのあり方について、入所時からご本人・ご家族の意向を聞き取り、事業所でできることについて説明しています。重度化や体調の変化に応じて、看取りに対し指針及び同意書を作成し、職員間で共通認識を行いました		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全員が救急蘇生訓練と感染予防の嘔吐物処理手順のシミュレーションを行っています。急変時は緊急時対応マニュアルに沿って対応するようにしています。特に夜勤帯は少人数となるため、夜間緊急時の対応シミュレーションを行っています			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回の消防避難訓練を自治会の方と一緒にを行い、緊急時は自治会長から自治会のリレー電話で応援に駆けつける体制ができています。地震、水害などの災害時の安全確保についてマニュアル等で対策を検討しています	災害発生時の訓練を自治会の協力のもと実施した。様々な災害場面を想定した安全確保についてのマニュアル等で対策を検討している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スピーチロックの勉強会を行い、声かけは親しみの中にも人格を尊重した丁寧な言葉使いをすることを全員が心掛けています。徘徊や帰宅願望のある利用者への言葉かけや見守り方について職員間で対応を統一し、利用者を尊重した関わりができるよう心がけています。好きなことや嫌いなもの、大切にしていることなどプライバシーを尊重した対応を心がけています		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	常にご本人の意思を確認して尊重して、時間がかかっても自分のペースで生活できるように見守っています。入浴や外出などは職員の都合を優先しないように希望を聞いています			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食材配達業者を利用し、カロリー計算の出来たメニューで食事の下ごしらえ、準備、片付けなどひとりひとりが得意とすることを一緒に行っています。利用者とお団子作りをする等、季節の食材を取り入れ、職員も同じ食卓で見守りしながら、食事や会話を楽しんでいます		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前に食事量や水分摂取量、好き嫌いなどをお聞きして無理なく必要量が摂れるように工夫しています。睡眠や運動など生活のリズムを整え、食事や水分摂取が進むようにしています			

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	口腔ケアは毎食後ひとりひとりの状況に応じて行なっています。口腔の状態を把握し、家族に報告して歯科受診を勧め、通院が困難な方は訪問歯科診療の情報提供をしています		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	チェック表を用いて、ひとりひとりの排泄パターンを把握し、排泄の失敗やパットやリハビリパンツの使用を減らし、なるべくトイレでの排泄ができるようにしています		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	基本は週に2～3回の入浴となっています。本人の希望に沿って午前と午後に分け入浴を実施しており、なるべくご本人の希望の時間や温度で入浴できるようにしています。気が向かない時は無理に誘わず、時間をおいて声をかけるなど個々にそった工夫をしています			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	眠りスキャンを活用し、おおよその就寝時間はありますがひとりひとりの習慣を大事にしています。なかなか寝付けない方は温かい飲み物をお出ししたり、おしゃべりしたり安心して眠る事ができるようにしています			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	内服薬は、全員が薬効について理解し、状況に応じた服薬支援をしています。看護師や法人の薬剤師、かかりつけ薬局に適宜相談、情報交換を行っています		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	生活歴や趣味を把握し、畑、花壇や手仕事など個々に応じた楽しみができるように支援しています。隣接の複合型サービスと交流など、施設内外で気分転換ができるようにしています	今後もそういった取り組みを継続してほしい		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	なるべくその日の希望に沿って戸外に出掛けていただけるように散歩などを行っています。行事や外食にも出掛けています。ご家族と温泉に行ったり、自宅に帰って家の掃除をしたりされる方もあります	感染症予防のため、外出が減少しているが、行事を活用し馴染みの関係継続の支援に努めてもらいたい		

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	金銭管理については、ご家族と相談し、自分で財布にお金を所持されている方もあります			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族に電話したいときは、職員が間に入り、電話で話しができるように支援しています。ポストまで手紙を出しに行くこともあります			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ユニット間の壁(ボード)を一部撤去し、両ユニットの交流や協力は継続して行っています。食堂や居間には花や飾り物をして季節感を出すようにしています。ブラインドや障子を使用し明るさを調節しています。日中は心地よい音楽や生活感を感じる音が聞こえるようにしています		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者ご本人やご家族より、意向を踏まえたうえで援助の方針を立案しています。意向や希望に変更がないか、適宜確認しながらサービスを提供しています			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴、生活習慣などを、アセスメントシートや生活歴シートを使用してご本人やご家族から聴取して、生活支援の方法を考えサービス提供しています			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎朝の体調確認を行い、週1回の提携している訪問看護事業所の状態把握を行い、体調不良時には主治医と相談し対応ができる体制を築いています		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食堂にはテーブルが3卓あり、そのときの気分で好きなところに座っていただいたり、一人になりたい時はソファに座ったり、畳に寝転んだり思い思いの場所で過ごしていただけるようにしています。			

44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	馴染みの家具や布団、ベッドを持ってきていただきそれらを使用されています。また、ご家族の写真や好きな本、自分の作った作品を飾っておられる方など、それぞれに居心地よく過ごせるようにしています		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに外出できる機会をつくり支援しています。公民館祭や綿栽培の取り組み、いきいきサロンなど外出の機会を作っています	感染症予防のため、面会制限や外出が減少しているが、行事を活用し馴染みの関係継続の支援に努めてもらいたい		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	過介護にならないようアセスメントシートを活用し、状態を把握し例えば調理や清掃、歌声サロンなどレクリエーションも含めて実施できています。徐々にできなくなることについてもお茶入れだけしてもらうなど検討を行っています			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ソファや畳の場所などがあり、ひとりの時間を過ごすことや利用者同士、ご家族と語らうことができる落ち着いた空間となっています。新聞やカレンダー、時計、今日の日付など見やすい位置に設置、バルコニーへ花の鉢植えを置き、気軽に一人で確認できるなど工夫しています		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	外出による交流の他に、月に1回の和田地区の紙芝居朗読ボランティアの実施や歌声サロンなど、定期的にボランティアの皆さんにお越しいただいております。その後一緒にお茶の時間を設け交流を図っています。ほかにもサロン活動や綿作り、地域交流餅つき大会などで保育園や小学校の生徒と交流しています	地域での取り組みが行われており素晴らしいと思う。感染の事もあり難しいと思うが今後も継続してもらいたい		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	認知症による症状によりご自宅での生活が難しい方にご入所いただき、自宅に馴染みの家具やベッドがあれば持ち込みを依頼して居室に設置し、居心地よく過ごせるよう工夫をしています。感染対策においては法人の感染対策委員会の元、適切な対応を行っており、令和5年度より行事を再開し、多数の地域ボランティアの方に参加してもらっています	椿庵桜庵は和田に一つしかない GH で重要だと思っている。認知症の人を支える施設をめざし行事、綿作り、餅つきなど今後も共同で行っていきたい	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	